

またなんり
⑥又南里 〈千代田町〉

人口 88 人、世帯数 24 世帯

又南里は、神埼市の南東部に位置し、田手川と国道 385 号の中間で国道 264 号沿いにあります。

地区名の由来は、東の最南端の地で股状の入江地の形状から、「股の南里」という名が付いたとされています。

地区では、老朽化した公民館を、平成 14 年に建設委員会を設け新築しました。

ここでは、おこもり、敬老会、各種クラブ、三夜町などで地区内の親睦を図っています。また、公役や農地・水・環境など、ここを拠点として地区全員で行っています。



▲公民館を拠点として地区活動

きょうわまち
⑤協和町 〈神埼町〉

人口 182 人、世帯数 84 世帯

地区の公民館は、戦後使用されていた授産所倉庫の跡を昭和 50 年に町から借り入れ、それを一部改築して使用していましたが、建物も古く、また、面積も狭く、会合などに不便をきたしていました。

平成 3 年度から建設資金の積立を始め、平成 16 年度に用地購入、それと同時にコミュニティセンター助成事業に申請しました。運良く平成 19 年度に採択され、同年 10 月に着工し、平成 20 年 3 月末に完成しました。この公民館建設を機に地区住民の融和、絆をより深め、地域発展のために大いに活用していきたいと思っています。



▲完成したばかりの公民館

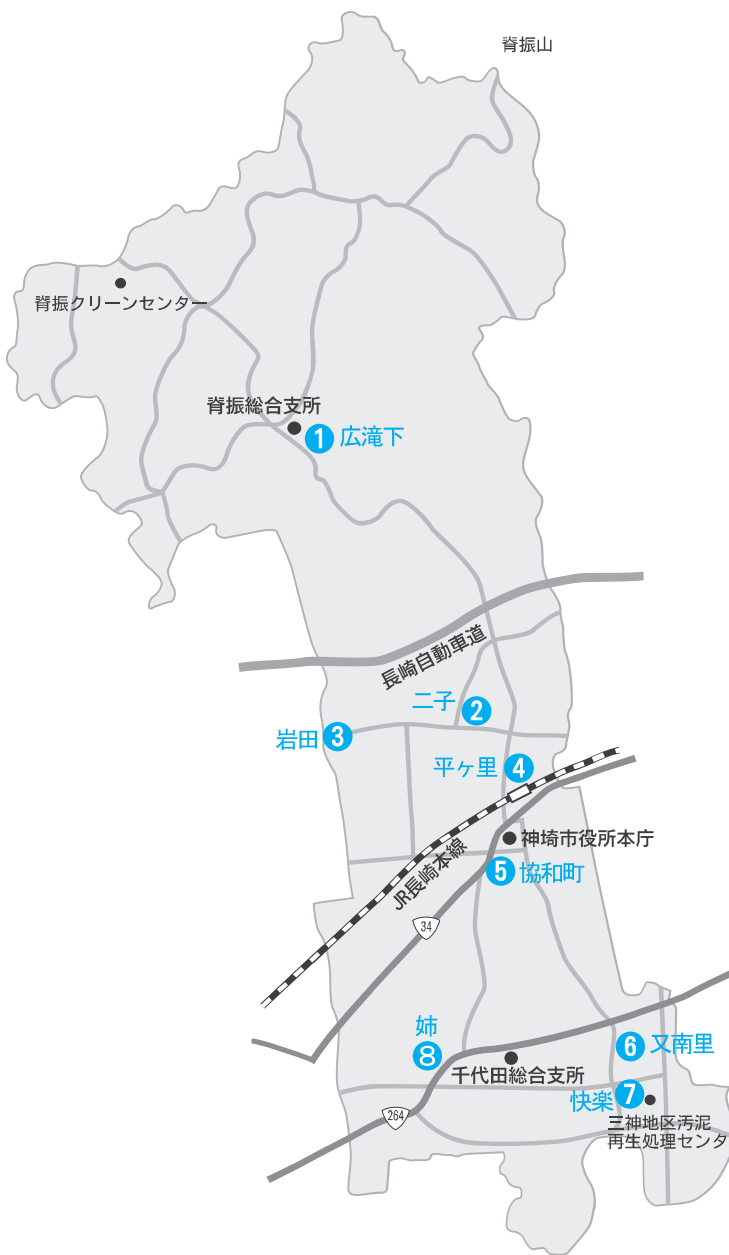
地区紹介 5



市民相互の理解と融和を図るため、市内 121 地区（神埼：63 地区、千代田：49 地区、脊振：9 地区）を紹介しています。

今回は、8 地区を紹介します。

※人口、世帯数は、平成 20 年 6 月末の住民基本台帳のデータです



ふたご
②二子 〈神埼町〉

人口 248 人、世帯数 103 世帯

地区は、旧仁比山村の南西に面し、佐賀川久保鳥栖線と鶴若宮線の県道が交差する交通の要所で、現在、道路拡張が進められています。

山にはその昔の松崎城、横大路城の砦もあります。その谷間に 4 つの溜池があり、灌漑用水として管理しています。

地区の伝統行事として、12 月第 1 土曜日にお燈夜祭りを行っています。最近では、子どもが少なくなっているため、老人クラブ、婦人会、親睦会の皆さんと地区全員で楽しんでいます。

なかでもビンゴゲームなどは大賑わいです。



▲地区住民参加の「お燈夜祭り」

ひろたきしも
①広滝下 〈脊振町〉

人口 147 人、世帯数 51 世帯

広滝下は、脊振町の中央部に位置し、城原川の豊かな水、山々の豊かな自然に囲まれた地区です。7 月に行う祇園祭は、子どもみこしや老若男女が集う伝統行事として受け継がれています。

また、地区内には高取山公園があり、公園には山の斜面を利用したローラーすべり台をはじめ、山頂まで登れるリフト、わんぱくライダー、草スキー、テニスコートや展望台、季節ごとに咲く花はとても美しくどの季節も散策を楽しむことができます。

皆さん、遊びに来てください。



▲祇園祭の「子どもみこし」

あね
⑧姉 〈千代田町〉

人口 734 人、世帯数 233 世帯

地区に伝わる行事は、旧正月に行なわれる「七福神」です。300 年以上も歴史があるといわれていますが、一般的な七福神と少々異なり、「大黒天」「恵比寿」「布袋」の三神に加え、「毘沙門天」の代わりが「年徳」、「寿老人」の代わりが「じい」、「福祿寿」の代わりが「ばあ」、「弁才天」の代わりが「嫁」の七福神に、「宰領人」という道先案内人が加わり 8 人で各家庭をまわり、それぞれ口上を述べ福を呼びます。

この行事は、現在、「七福神保存会」を立ち上げ将来に伝えていく努力をしています。



▲地域で守る「七福神」

かいらく
⑦快樂 〈千代田町〉

人口 78 人、世帯数 29 世帯

快樂地区には、市民の憩いの場として休日には多くの家族連れが訪れる「次郎の森公園」があります。

園内には復元された「埤水門」やクレーンに見立てた水が引かれています。地域・職場の交流の場として、一度遊びに来てみませんか。

また、次郎の森公園入口には、テレビなどで有名になった「快樂入口」の看板などもあります。

地区の名前の由来については、謎のベールにつつまれています。皆さん、この謎を探求してみませんか。



▲「次郎の森公園」の入口にある看板

ひらがり
④平ヶ里 〈神埼町〉

人口 299 人、世帯数 113 世帯

私たちの地区は、県道三瀬神埼線沿いの踏み切り上から国道 34 号線沿いにある細長い地区です。

近年、駅北口や吉野ヶ里歴史公園へのアクセス道路が整備され、春には菜の花、秋にはコスモスが咲き、近くには、吉野ヶ里遊学館の地元野菜などの販売所があり、駅北口は、憩いの場所としてよいところです。

毎年、8 月 10 日の夜に行われる「御観音さん祭り」は、小学生以下の女の子が施主となって行ってきましたが、少子化の影響により男の子も施主に加わるようになりました。



▲駅北のコスモス、春には、菜の花が満開となる

いわた
③岩田 〈神埼町〉

人口 416 人、世帯数 146 世帯

地名の由来は、歴史的に古く鎌倉時代には岩田村として存在の記述があります。

地区には、昭和 26 年に国の史跡指定を受けた帯隈山神籠石、丸山前方後円墳などの歴史的遺跡の他、県道鳥栖川久保線の佐賀市境の山裾に「熱とり権現さん」があります。白豆腐を供えてお参りすると、原因不明の熱が引くといわれ、今でも多くの参拝があります。平成 18 年には、地区住民の懇志により再建されました。

地区行事では、昭和 30 年代より運動会や盆踊り大会が開催され、現在も引き続き住民の親睦と融和を図るため開催しています。



▲平成 18 年に再建された「熱とり権現さん」